

CommuniGate Pro Dynamic Cluster

電子メールで99.999%のアップタイムを実現

Stalker Softwareの「旗艦」製品であるCommuniGate Proは現在、入手可能なインターネットメッセージングサーバーとしては技術的に最も進んでいることが証明されています。事実、サービスプロバイダーや通信会社などの顧客からは、アップタイム(利用可能時間)やセキュリティ、拡張性について厳しい要求が提示されますが、この種の機能の対応についてCommuniGate Proは優れた評価を得ています。

CommuniGate Proソリューションの概要

CommuniGate Proでは、SMTPやPOP、IMAPなどのメッセージング標準がサポートされています。加えて、共有フォルダ、統合Webメール、カレンダー/スケジュール(Outlook、Web、iCal、vCalを経由)、LDAPディレクトリ、パーソナルWebページ、メーリングリスト、スパム/ウィルス保護といった各機能も搭載されています。

上記の処理はCommuniGate Proサーバーによって実行され、CommuniGate Proサーバーは、UNIX、Linux、Windows、Mac OS X、AS/400など、30種類を超えるOS/ハードウェアの組み合わせに対応しています。このため、バックエンドインフラストラクチャーの面で最大の柔軟性が得られると同時に、これまでのハードウェア投資が無駄になることもありません。

ダイナミッククラスターアーキテクチャ

CommuniGate Proは、ダイナミック(動的)で大規模のメッセージングシステムで必要になる要件を基本にして設計されています。独自のダイナミッククラスターアーキテクチャが採用されており、このアーキテクチャは他のソリューションには見られません。このアーキテクチャの採用により、企業では、高速で信頼性の高いメッセージングサービスを構築でき、しかも必要に応じてシステムを拡張することが可能になります。

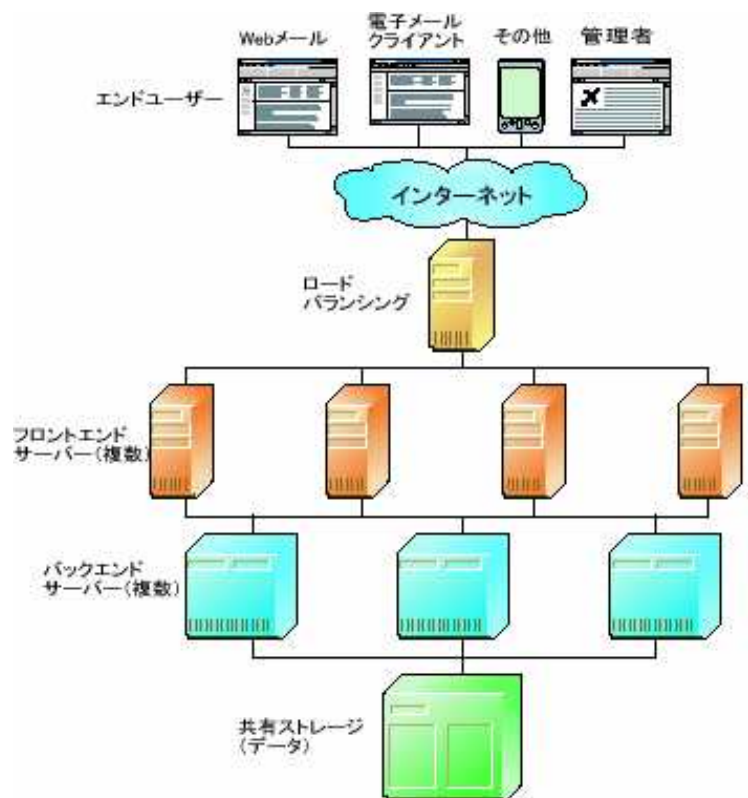
ダイナミッククラスターアーキテクチャは、複数のフロントエンドサーバーと複数のバックエンドサーバーで構成され、こういったサーバーによって共有ファイルシステム上のドメインデータやアカウントデータにアクセスが行われます。具体的には、フロントエンドサーバーは、メールのリレーに関する処理やSSL暗号化/復号化を実行し、また、バックエンドサーバーをTCP/IP攻撃(DoS攻撃を含む)から保護するという機能を果たします。一方、バックエンドサーバーによって、ドメインデータやアカウントデータにアクセスが実行されます。こういったデータは、共有ファイルシステムに保存されています。共有ファイルシステムとしては、NAS(ネットワークアタッチドストレージ)またはCFS(クラスターファイルシステム)の2種類があります。

ダイナミッククラスターと拡張性

CommuniGate Pro独自のダイナミッククラスターアーキテクチャの場合、ほとんど無制限でシステムの拡張が可能です。容量やサービスの追加も、エンドユーザーの作業を中断させることなく行えます。拡張は、必要ときにフロントエンドサーバーやバックエンドサーバーをクラスターに追加するだけで済み、システムの動作をいったん停止させ、再度立ち上げるといった作業は不要です。

ダイナミッククラスターの利点

- 高速の処理
- 数百万のアカウントをサポート、99.999%のアップタイムを実現
- 既存のサービスに影響を及ぼすことなく拡張が可能
- 通信/回線会社レベルの信頼性を確保
- 管理が容易 統合単一システムとして管理可能
- メールボックスの障害を低減 破損ファイルに対するファイルロックなし
- ディスクの効率的な使用 メールボックスのフォーマットが柔軟なため保存オーバーヘッドが減少



ダイナミッククラスターアーキテクチャ

「CommuniGate Proのダイナミッククラスターアーキテクチャのおかげで障害は事実上、まったく発生しなくなり、クライアントマシンのアップタイムが向上しました。それに、アップグレードの際もクラスター全体をシャットダウンする必要もなくなりました。こういった機能には、とくにオペレーションチームのメンバーが喜んでいきます。」

Echo Broadband, Inc.のマリオ・コウル氏 (IPサービスディレクター)の言

Stalker Softwareについて

Stalker Softwareは、メッセージング、コラボレーションソリューションの分野で技術リーダーとして活躍している会社です。信頼性、拡張性、費用対効果のすべてにおいて最高の電子メールシステムを開発しており、製品は通信会社、一般企業、サービスプロバイダー、大学などで利用されています。業務の円滑な遂行には、電子メールが必要な企業、団体ばかりです。

Stalker Softwareの技術は実証済みであり、その実績も他社とは比較にならないくらい豊富で、製品は世界中で使われています。こういった背景をもとに、Stalker Softwareでは常に顧客のメッセージング需要に見合ったサービスを提供しています。

655 Redwood Highway
Suite 275
Mill Valley, CA 94941
tel: 800.262.4722
tel: 415.383.7164
fax: 415.383.7461
www.stalker.com

日本での連絡先:

Sachi Noma
046-872-4950
090-4424-7194

snoma@communiGate.com



ダイナミッククラスターとアップタイム

CommuniGate Pro のダイナミッククラスターアーキテクチャでは、サーバーに障害が発生したときでも、フロントエンドサーバーとバックエンドサーバーがそれぞれ1台動作していれば、ユーザーは全員、通常どおりに電子メールにアクセスできます。これは、このアーキテクチャによってロードバランシングとサーバーリダンダンシーが実現され、その結果、障害時でも高速の処理とサービスの利用が可能になるためです。

ダイナミッククラスターと処理速度

メッセージングシステムの処理速度と信頼性は、ストレージソリューション、つまりアカウントデータとメールボックスデータがどこに、どのようにして保存されるかによって大きく左右されます。たとえば、電子メールでは I/O 要求が多く、ファイルアクセスプロトコル(たとえば NFS)によっては、OS とファイルシステムレベルのロッキングが原因で処理が不安定になることがあります。

CommuniGate Pro では、独自のアカウントレベル同期プロトコルが採用されており、これによりファイルアクセスシステムで見られる効率の悪さが排除されています。このアカウントレベル同期プロトコルは高速のインターサーバープロトコルで、CommuniGate Pro では、このプロトコルを使って、複数のクライアントからメールボックスに対するアクセスが制御されます。また、メールボックスはクラスターによって処理されるため、ファイルロックは必要ありません。メールボックスに対しては、複数のユーザーが IMAP、POP、Web メール各セッションを介して同時に開くことができます。さらに、クラスターによって最新のマルチセッション IMAP クライアントがサポートされ、共有メールボックスによるグループコラボレーションも可能になります。

以上のように、CommuniGate Pro ではファイルロックから解放されるため、ストレージデバイスで従来よりはるかに多くのアカウントを扱えるようになり、同時に処理の安定性が確保され、速度も向上します。また、ファイルロックではファイルシステムに痕跡が残ってしまいますが、CommuniGate Pro のアカウントレベル同期プロトコルでは痕跡はいっさい残らず、高い信頼性が確保されます。つまり、サーバーの障害時にもクリーンアップの必要はありません。

CommuniGate Pro には、フル機能、フルサポート付きの評価バージョンが用意されていますので、試用をお勧めします。

<http://www.communiGate.com/download/>からダウンロードした後、インストールしてください。

Copyright 2006 CommuniGate Systems, a Division of Stalker Software, Inc. 著作権はすべて保護されています。Stalker, CommuniGate, Stalker のロゴは Stalker Software, Inc. の商標です。その他の商標は、各所有者の財産です。